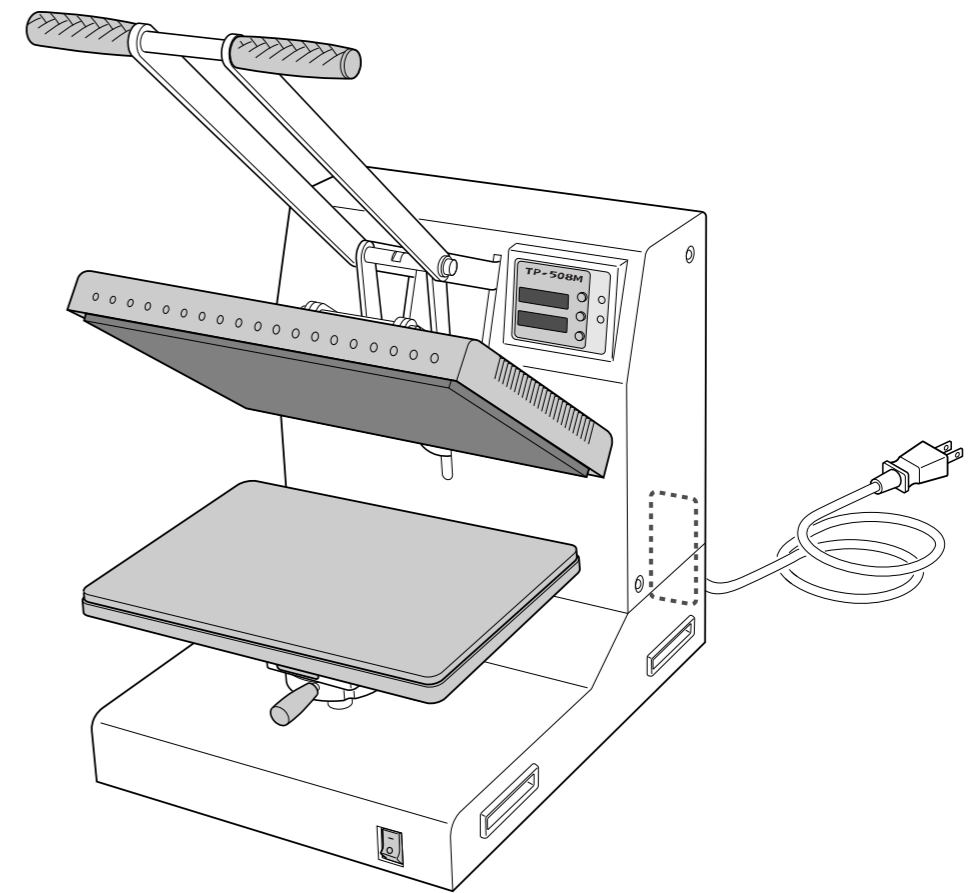
製造・発売元 / **太陽精機株式会社ホリゾン事業部**
〒180-0005　東京都武蔵野市御殿山1-6-4
TEL　0422（48）5119(代)　　FAX　0422（48）5009
京都事業所
〒601-8204　京都市南区久世東土川町242
TEL　075（921）9225　FAX　075（921）9217
オリジナルプリントホームページ：http://www.taiyoseiki.com

UM107145-01

080917/TP508M/01J/事業部/DV

TAIYO-SEIKI

トランスファープレス機 TP-508M 取扱説明書

このたびはトランスファープレス機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。ご使用になる前にこの取扱説明書をお読みになり、よくご理解いただいた上で本機の操作、保守を行ってください。
またいつでもお読みになれるように保管場所を決めてご活用ください。

あらかじめご承知いただきたいこと

この取扱説明書は、本製品をお使い頂くためのガイドブックです。本製品を初めてお使い頂く方はもちろん、すでに使用経験をお持ちの方も知識や経験を再確認する上でお役に立つものと考えております。この取扱説明書をよくお読みになり、内容をご理解された上でお使いくださいますようにお願いします。また、この説明書を手元に置かれて作業されることをお勧めします。

この製品は改良のために、仕様を変更する場合があります。このため、同一製品においても、「取扱説明書」の記載内容の異なる場合もあり得ますので、製品ごとの「取扱説明書」を混同して使用しないでください。

製品またはこの取扱説明書の内容についてのご質問は、下記までお問い合わせください。

製造・発売元 / **太陽精機株式会社ホリゾン事業部**
〒180-0005　東京都武蔵野市御殿山 1-6-4
TEL 0422 (48) 5119(代)　FAX 0422 (48) 5009
京都事業所
〒601-8204　京都市南区久世東土川町 242
TEL 075 (921) 9225　FAX 075 (921) 9217
オリジナルプリントホームページ：http://www.taiyoseiki.com

安全についてのご注意

本製品を安全にご使用いただくには、この取扱説明書に示されている安全に関する注意事項をよくお読みになり、十分に理解されるまで、作業を行わないでください。

取扱説明書に示した操作法および安全に関する注意事項は、本製品を指定の方法で使用する場合に有効なものです。この取扱説明書外の使用、取扱いを行う場合の安全に対する配慮は、すべてご自分の責任とお考えください。

この取扱説明書及び製品への表示では、製品を正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠警告	もしお守りいただかないと、人身事故につながる可能性のある注意事項は「警告」という見出しで掲げてあります。
⚠注意	もしお守りいただけないと、機械の破損や故障につながる可能性のある注意事項は「注意」という見出しで掲げてあります。

[絵表示の意味]

△　絵表示は警告・注意を促す内容があることを示すものです。

⃠　絵表示は禁止の行為であることを示すものです。

❗　絵表示は行為を規制したり指示する内容を示すものです。

重要	誤って操作すると、トラブルが起こったり、また始めから作業を行っていただくことになる可能性があります。必ず、お読みください。
ポイント	操作上のコツやノウハウについて説明しています。
補足	本製品を使ううえで、知っておくと役に立つ情報を説明しています。
注記	この内容を無視すると、トラブルを引き起こす可能性があります。

安全に対する基本的な注意事項

ご使用上の警告	
	操作は必ず一人で行ってください。
	この機器は分解しないでください。内部には電圧の高い部分があり感電の可能性があります。また、故障のときは、速やかに弊社に修理を依頼してください。
	長時間本機をつかわないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントより抜いてください。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。 コードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。（必ずプラグを持って抜いてください。）
	ヒーターやその周辺は高温ですので、「やけど」に注意してください。
	プレス中にヒーター部の下に手をやらないでください。「ケガ」や「やけど」をする恐れがあります。
	プレスしたまま放置しないでください。故障や火災の原因になります。 (タイマーの終了後、ブザーによる警告が約 1 分続きます。その後ヒーターへの通電を停止します。プレスを解除すれば、通常状態に戻ります。)
	本機に液体がかかったときは、ただちに電源プラグを抜き、拭き取ってください。 また、内部に入ったときは、ご購入店に点検、修理をご相談ください。この状態で使用を続けると、感電や故障の原因になります。
	「下こて」の交換は、電源を切り、本機が充分冷えたことを確認してから、行ってください。
	使用中、本機から離れないでください。使わないといは、電源を切ってください。
	異常な発熱や煙が出たときはただちに電源を切ってください。安全を確認してから電源を入れてください。

ご使用上の注意

	現物でTシャツをプレスする前には、必ず試し用生地等を使ってテストしてください。
	ボタンやファスナーをプレスしないでください。変形する恐れがあります。
	アルコール、シンナーなど可燃物を本機の近くに置かないでください。災の恐れがあります。
	ヒーター面の清掃は、電源を切り、本機が充分冷えたことを確認してから、行ってください。
	電源は必ず専用コンセントを使用し、テーブルタップは使用しないでください。
	電源コードの上に重いものをのせないでください。火災や故障の原因になります。

設置上の注意

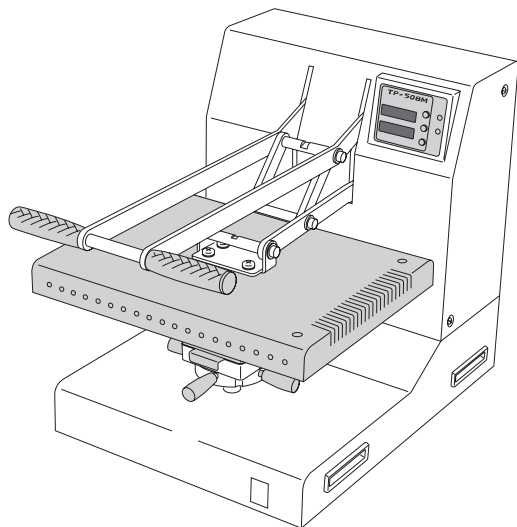
	幼児の手の届かない場所に設置してください。
	ぐらついた台や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。 落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。
	次のような場所でのご使用や保存はおやめください。 ・ 直射日光のあたるところ。 ・ ほこりの多いところ。 ・ 振動の多いところ。 ・ 強い磁気を発生する器具の近く。誤動作することがあります。 ・ ストーブやスチームの近くなど、極端に温度や湿度の高いところ。 ※ご使用の目安となる温度、湿度はそれぞれ 10 ～ 35 ℃、20 ～ 80%です。

★イラスト等をコピーするとき、著作権、商標権等に抵触するものもあります。ご注意ください。

目次

あらかじめご承知いただきたいこと 1
安全についてのご注意 2
安全に対する基本的な注意事項 3
目次 5
セット内容 6
各部のなまえとはたらき 7
仕様 8
設置のしかた 9
基本的な操作 10
下こての交換 14
故障と思われる前に 16
プレス条件 18
オプション 20

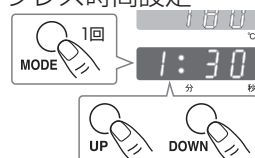
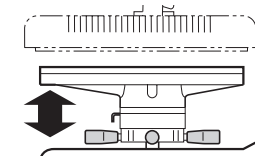
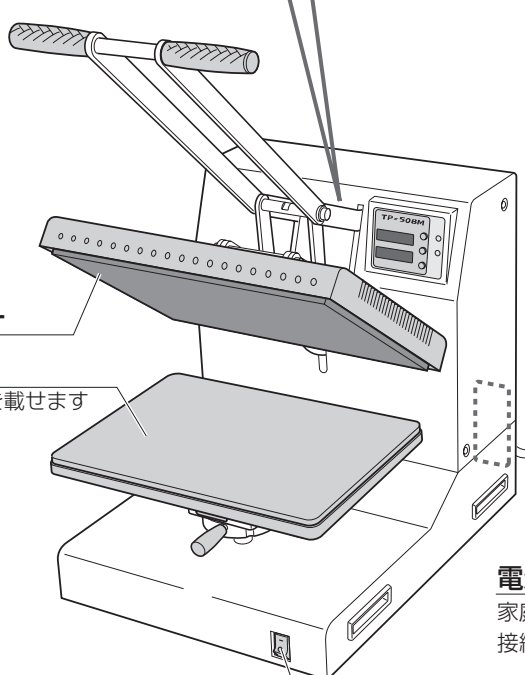
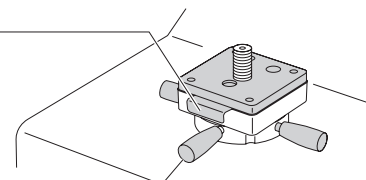
セット内容

TP-508M本体.......1台

取扱説明書.......1冊

保証書.......1枚

標準下こて（380 ㎜ × 280 ㎜）.......1枚

見本帳.......1冊

各部のなまえとはたらき

仕様

ＴP-508M の仕様

名　　　　　称	トランスファープレス機
ヒーターサイズ	290mm × 390mm
ヒーター温度調整範囲	90 ℃ ～ 220 ℃
電　　　　　源	AC 100V　11A　50/60Hz 単相
消　費　電　力	970W
本　体　寸　法	約 400(W) × 550(D) × 780(H)mm (※高さは、ハンドルレバーを一番上げたとき)
質　　　　　量	35 Kg

設置のしかた

⚠ 警告

・幼児の手の届かない場所に設置してください。

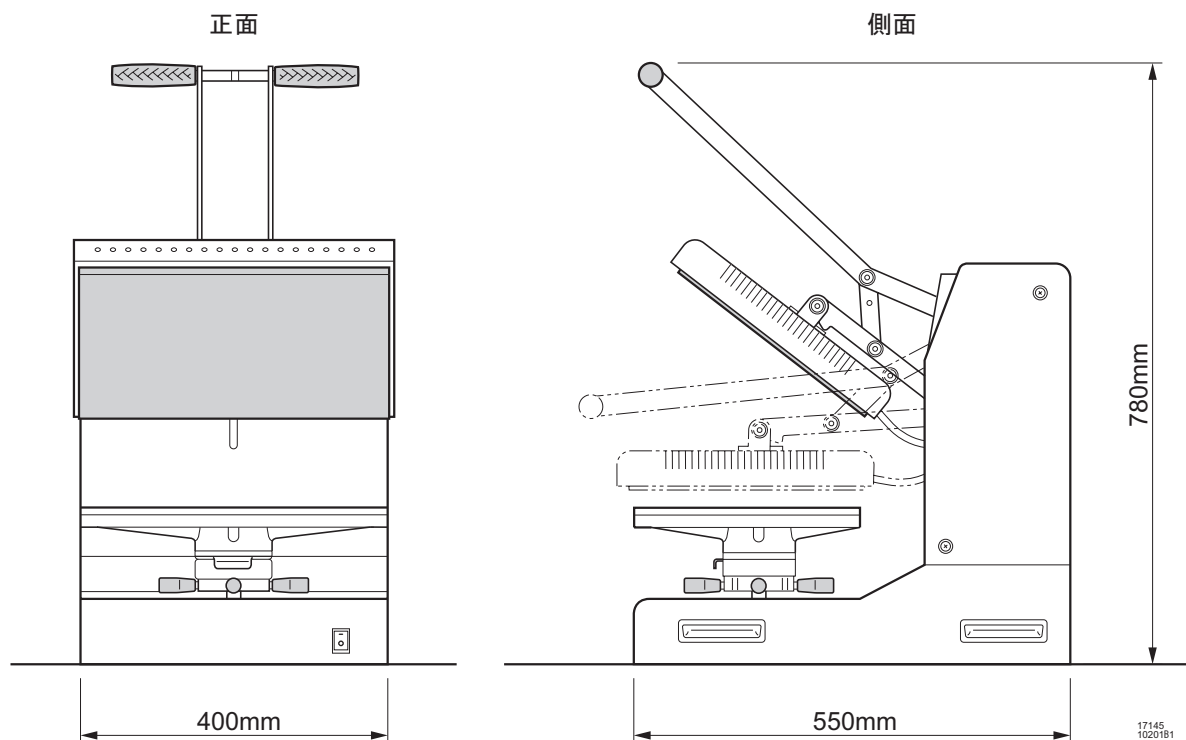
⚠ 注意

・「TP-508M」の質量は約35kgです。水平で本機の質量を考慮した場所に設置してください。
・直射日光の当たる場所や、高温多湿になる場所には設置しないでください。

ポイント

・本機の設置スペースは、400mm × 550mm です。
・ハンドルレバーを一番上げた状態の高さを考慮して、設置してください。

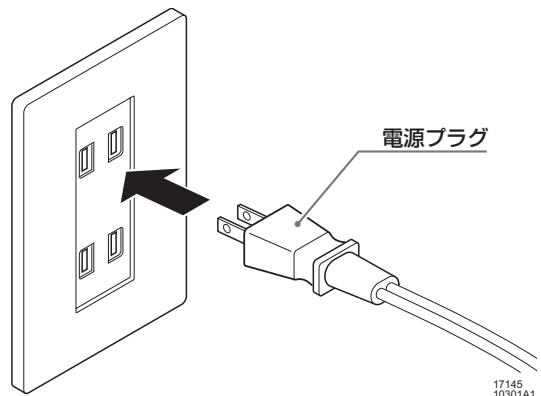
1 本機を設置位置に置いてください。

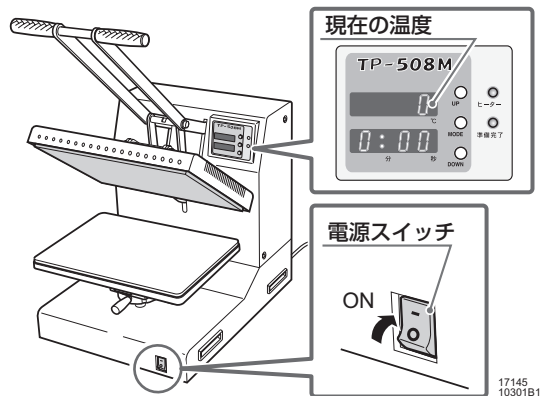
・ 家庭用コンセントまで届く範囲で、設置してください。

基本的な操作

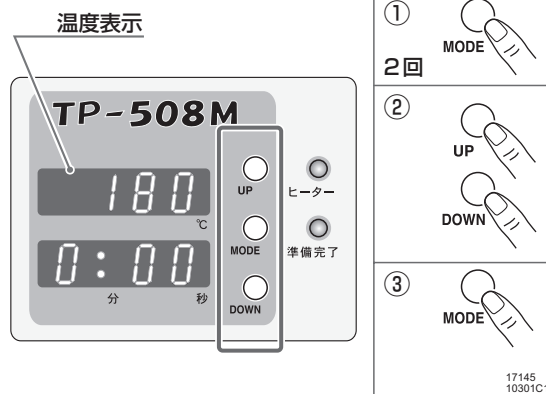
ここでは、Ｔ シャツやお皿に転写するときの手順を説明します。

⚠ 警告

- ・操作は必ず一人で行ってください。ケガをする恐れがあります。
- ・ヒーターやその周辺は高温ですので、触れないでください。やけどをする恐れがあります。
- ・電源は必ず専用コンセントを使用し、タコ足配線はしないでください。感電や火災の原因になります。

1 電源プラグをコンセントに差し込んでください。

2 電源スイッチの「｜」側を押して、電源を入れてください。

➡ 操作パネルに、現在の温度を表示します。

3 プレス温度設定を行います。

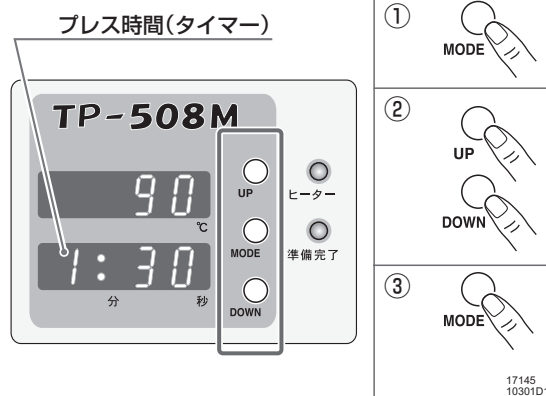
①「MODE」ボタンを２回押します。温度表示が点滅します。
②「UP」ボタンまたは、「DOWN」ボタンを押してプレス温度を設定します。（詳しくは 18 ページ）
例：T シャツに転写する場合：１８０℃
　　お皿に転写する場合：１８０℃
・「UP」ボタンを１回押すと、温度が１℃上昇。２秒以上押すと数値が早送り。
・「DOWN」ボタンを１回押すと、温度が１℃下降。２秒以上押すと数値が早送り。
③「MODE」ボタンを押します。②の設定温度が確定され、現在のヒーター温度表示に戻ります。

4 プレス時間 (タイマー) 設定を行います。

①「MODE」ボタンを１回押します。時間表示が点滅します。

②「UP」ボタンまたは、「DOWN」ボタンを押してプレス時間を設定します。(詳しくは 18 ページ)

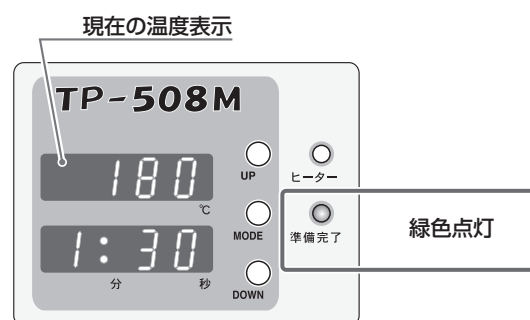
例 : T シャツに転写する場合 : １分３０秒
　　お皿に転写する場合 : ５分

- 「UP」ボタンを１回押すと、時間が１秒増えます。２秒以上押すと数値が早送り。
- 「DOWN」ボタンを１回押すと、時間が１秒減ります。２秒以上押すと数値が早送り。

③「MODE」ボタンを押します。②のの時間が確定されます。

5 「準備完了」ランプが「緑色」に点灯するのを待ちます。(ブザーでお知らせします。)

- 「準備完了」ランプが「緑色」に点灯するのを待ちます。(ブザーでお知らせします。

重要

- 設定温度から大きく離れると、「準備完了」ランプが消灯し、プレス作業ができません。

6 プレス圧を調整します。

「圧力調整ハンドル」を回し、「下こて」の高さを変えて調整します。

- 左に回す :「下こて」が下がります。(プレス圧 : 弱)
- 右に回す :「下こて」が上がります。(プレス圧 : 強)

補足

- プレス条件によって、プレス圧を調整してください。(詳しくは 18 ページ)

T シャツに転写する場合の基準位置 :

①「圧力調整ハンドル」を右にいっぱい回し、最上位置にします。

②「圧力調整ハンドル」を左に１８０度だけ戻します。

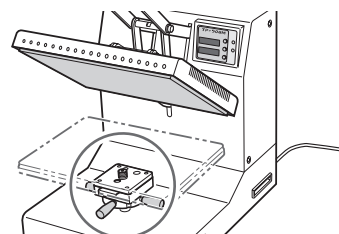
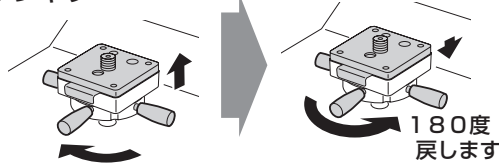
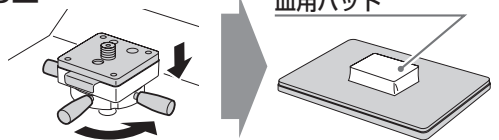
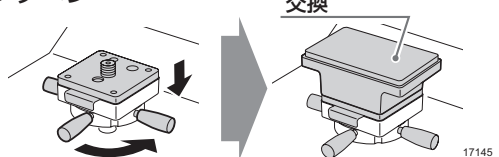
お皿に転写する場合の基準位置 :

①「圧力調整ハンドル」を左にいっぱい回し、最下位置にします。

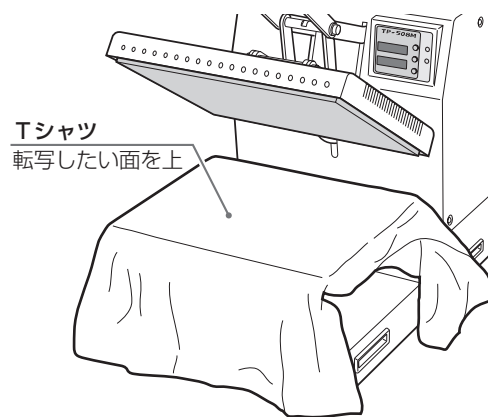
②「皿用パット」を「下こて」の上に載せます。(詳しくは 14 ページ)

ワッペン等を転写する場合 (転写面が小さい場合) :

①「圧力調整ハンドル」を左にいっぱい回し、最下位置にします。

②「下こて」を交換します。(詳しくは 14 ページ)

7　素材を「下こて」の上に置いてください。

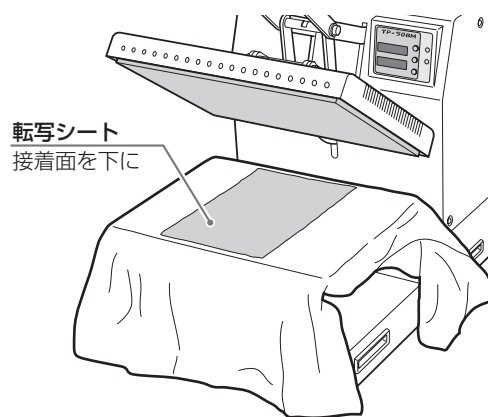
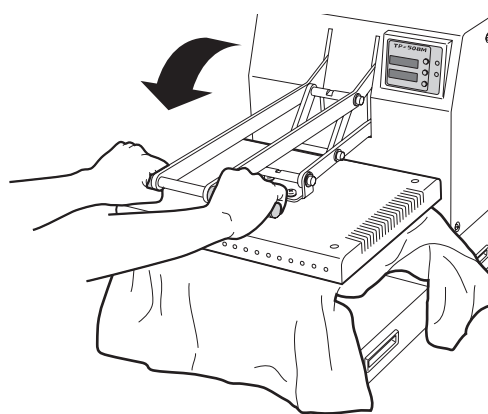
ポイント

- 電源を入れた後、最初に使用するときや、電源を入れたままの状態でしばらく時間を空けたときには、空プレスを２～３分行ってから作業にかかってください。ヒーター面の温度が均一になります。
- Ｔシャツの素材にポケットなどの段差があるときは、「段差マット (オプション) 」を使用すると跡がつきません。

例：　Ｔ シャツに転写する場合：
- 素材 (Ｔ シャツ等) の転写したい面を上にして、「下こて」の上に置いてください。

例　お皿に転写する場合：
- 手順８に進んでください。

8　「転写シート」の裏表に注意して、素材の転写したい部分に置いてください。

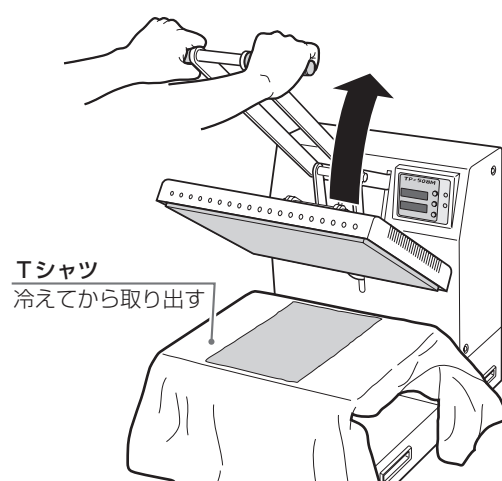
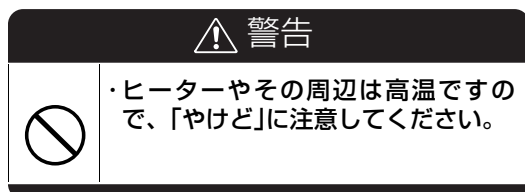
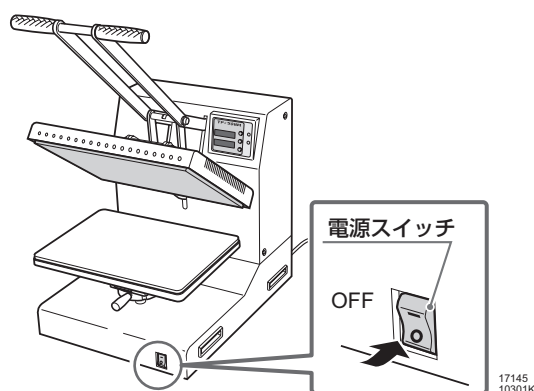
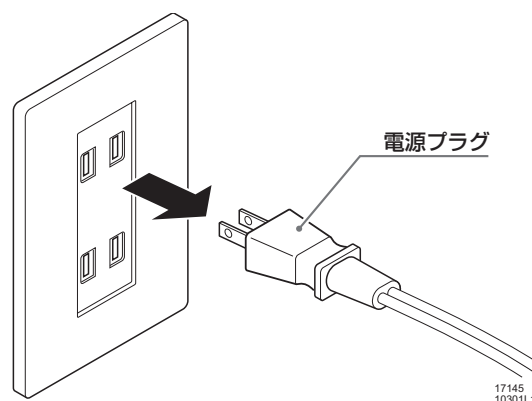
例：　Ｔ シャツに転写する場合：
- 「転写シート」の裏表に注意して、素材の転写したい部分に置いてください。

例　お皿に転写する場合：
①「転写シート」の裏表に注意して、「皿用パッド」の上に置いてください。
②素材 (丸皿、角皿) の転写面を下にして、「転写シート」の上に置いてください。

9　「ハンドルレバー」を持ち、「ハンドルレバー」をロックするまで押し下げます。(プレス開始)

10 プレスが終わると (タイマー)、ブザーが鳴ります。(プレス終了)

「ハンドルレバー」を持ち、「ハンドルレバー」をいっぱいまで上げます。

素材が冷えてから取り出し、転写面を確認してください。

⚠ 警告

・ヒーターやその周辺は高温ですので、「やけど」に注意してください。

11 作業が終われば、電源スイッチの「 O 」側を押して、切ってください。

12 電源プラグをコンセントから抜いてください。

これで基本的な操作は完了です。
「サイズの小さい転写」を行う場合は、14 ページを参照してください。

下こての交換

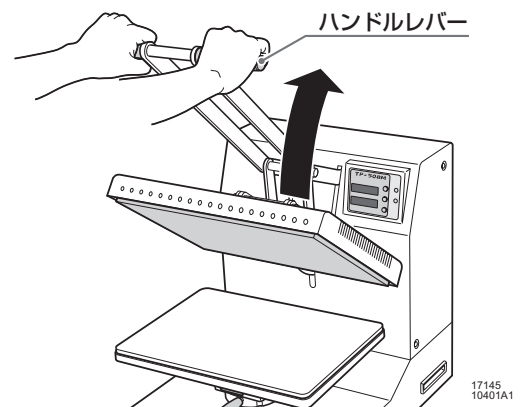
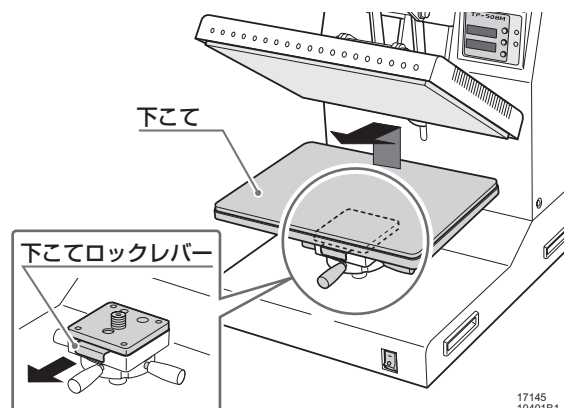
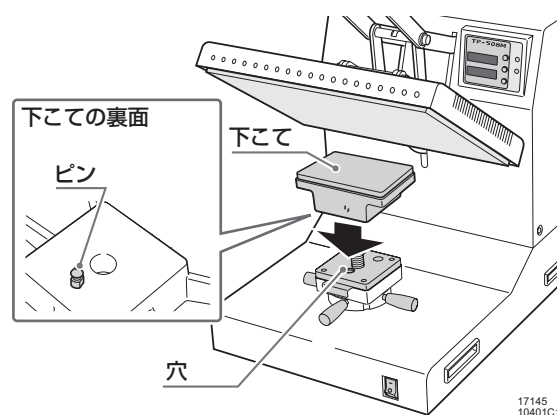
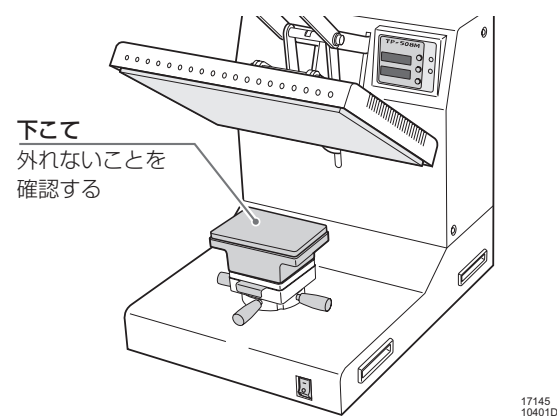
サイズの小さい転写を行う場合

サイズの小さい転写など、標準の「下こて」で作業がしづらい場合、サイズの小さな「下こて」に代えると効果的です。
サイズの小さな「下こて」を使用することによって、大きなプレス圧で転写することができます。

オプションで以下のサイズの「下こて」があります。
・ 下こて (標準) : 380mm × 280mm
・ 下こて (オプション) : 165mm × 165mm
・ 下こて (オプション) : 165mm × 100mm

⚠ 警告

・下こての交換は、電源スイッチが切のときに行ってください。使用直後のときは、ヒーターだけでなく下ごても高温になっています。必ず本体の温度が充分に下がってから下こての交換を行ってください。やけどをする恐れがあります。

1 「ハンドルレバー」を持ち、「ハンドルレバー」をいっぱいまで上げます。

2 「下こてロックレバー」を手前に引きながら、「下こて」をまっすぐ上に持ち上げてください。

3 「下こて」の裏側のピンと本体の穴をあわせ、はめ込んでください。

4 「下こて」を持ち上げても、外れないことを確認してください。

故障と思われる前に

トラブルの内容と対策

以下に主な原因と対策を示しています。
同様のトラブルが起こったときは、下記に示された対策を行ってください。

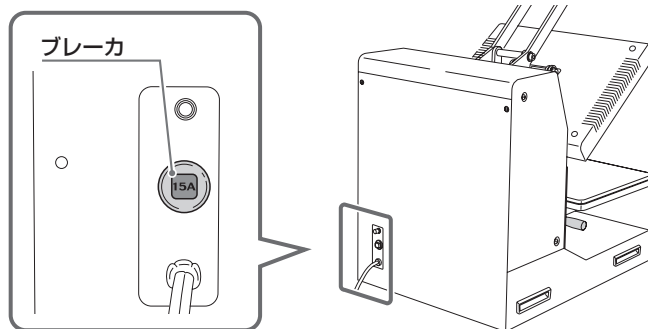
ケース 1

・ヒーターが熱くならない

・電源プラグを確実に差し込んでください。
・プレス温度設定が正しいか、確認してください。

ケース2

・ブレーカが落ちた

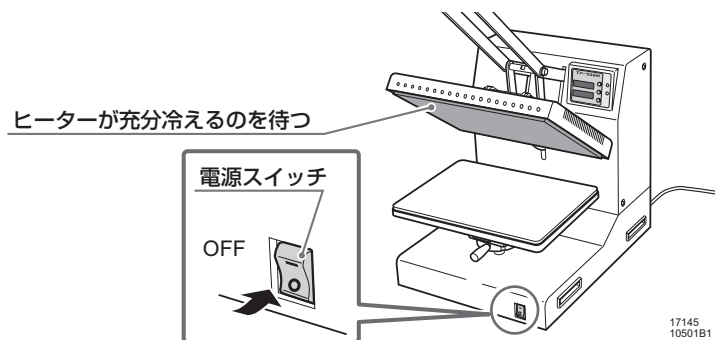
・電源スイッチを切にして、ブレーカのボタンを押し込んでください。再びブレーカが落ちるようであれば、販売店に連絡してください。

ケース3

・きれいに転写できない

・プレス温度設定、プレス時間 (タイマー) 設定が正しいか確認してください。
・ヒータが充分なプレス圧で押し付けられているか確認してください。
　プレス圧の調整が必要なときは、11 ページを参照して再調整を行ってください。
・転写紙が裏表逆さまになっていないか、確認してください。
・乾いた素材を使用してください。
・素材にあった転写紙を使用してください。
・すでにプリントされている素材に転写すると、そのプリント部分の転写がはがれる場合があります。
・

ケース４

・ 素材が汚れる

・ 電源スイッチを切にして、ヒーターが充分に冷えてから、ヒーター面を布で拭いて清掃してください。

プレス条件

当社製商品のプレス温度、プレス時間、プレス圧

プレス条件はマーク生地の圧着、各種転写シートにより異なりますので、推奨温度に設定してご使用ください。推奨温度は、メーカーにより異なりますのでご注意ください。

	プレス条件			適応素材					2重マーク
	温度	時間	圧力	綿	綿ポリ	ポリ	ナイロン	防水布	
サンソフト	160 ℃	30秒	最大	●	●	●	●	×	●
サンクロス	160 ℃	30秒	最大	●	●	●	●	×	●
サンシルキー	160 ℃	30秒	最大	●	●	●	●	×	●
サンメッシュニット マーク地	160 ℃	30秒	最大	●	●	●	●	×	●

	プレス条件			適応素材					2重マーク
	温度	時間	圧力	綿	綿ポリ	ポリ	ナイロン	防水布	
サンプリント	180℃	30秒	最大	●	●	×	×	×	×
サンラバー一般色	150℃(130℃)[1]	20秒	最大	●	●	●	●	×	●
サンラバー金銀	130～150℃	15～20秒	最大	●	●	●	●	×	●
サンラバー蛍光色	130～150℃	15～20秒	最大	●	●	●	●	×	×
サンブライト	150 ℃	20秒	最大	●	●	●	●	×	●
サンスターチ	130 ℃	20秒	中	●	●	●	●	×	×
メタルラバー	150 ℃	15秒	最大	●	●	●	●	×	×
マットラバー	150℃(130℃)[1]	20秒	最大	●	●	●	●	×	●

1）再昇華する恐れのある生地（ポリエステルの色生地）は低温130℃、20秒での転写をお勧めします。
　但し、光沢特殊加工している生地には150℃でのプレスをお勧めします。

	プレス条件				適応素材					2重マーク
	温度		時間	圧力	綿	綿ポリ	ポリ	ナイロン	防水布	
撥水サンラバー	仮転写	135℃	5秒	弱	×	×	●	●	●[1]	×
	圧着	135℃	20秒	最大						
反射ラバー	仮転写	110℃	20秒	最大	●	●	●	●	×	×
	圧着	160℃	20秒	最大						
発泡ラバー	仮転写	100℃	20秒	最大	●	●	●	●	×	×
	圧着	150℃	20秒	最大						

1）種類によって接着しない場合があります。必ず事前にテストが必要です。

	商品名	温度	時間	プレス圧
カラーコピー用	HOP	160～170℃	10秒	最大
カラーコピー＆カラーレーザープリンタ用	JUMP	180℃	20秒	最大
	BEST	180℃	15秒	最大
	Blanc	130℃	8秒	強
インクジェットプリンタ用	JET淡色	180～190℃	15秒	最大
	JET濃色	185℃	20秒	強

ポイント

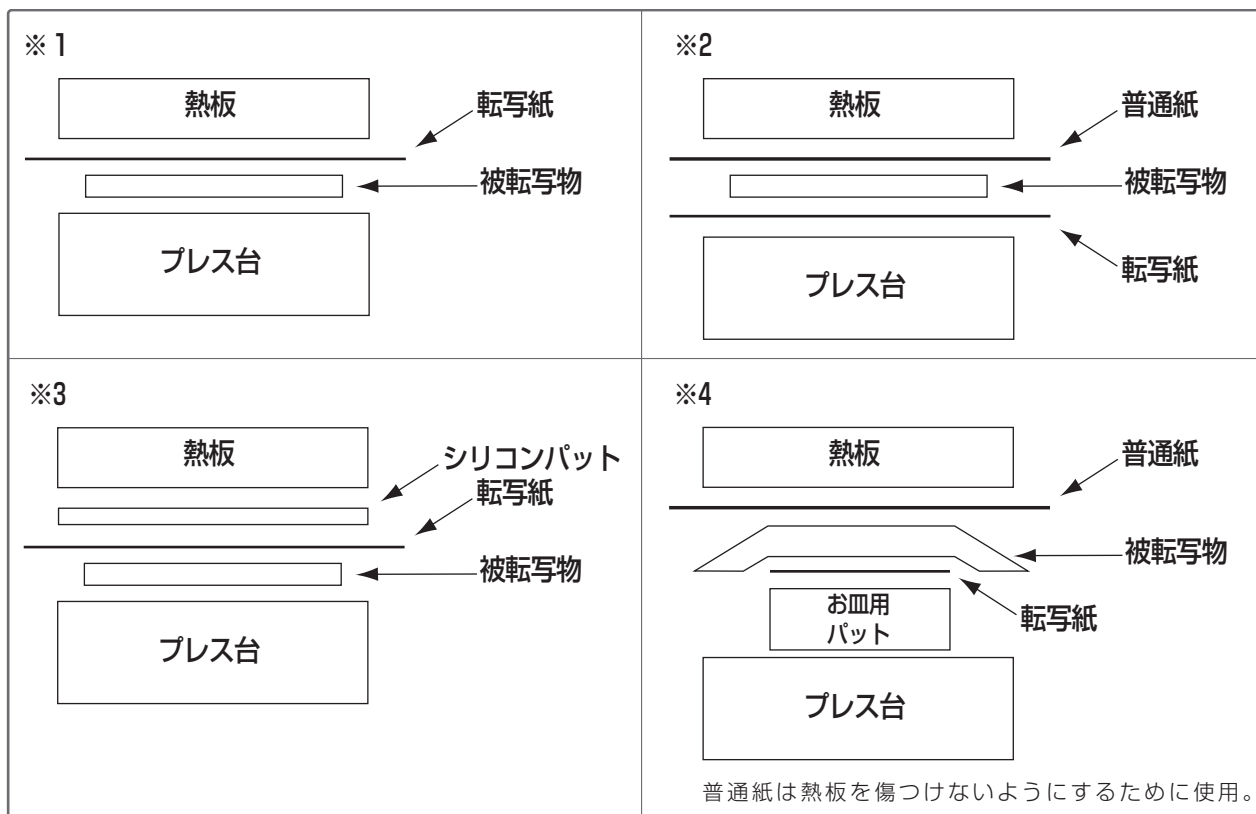
・厚手のシャツ（野球のユニホーム等）は、時間を２～５割り増しで加工してください。
・加圧力が低いと接着、転写不足になりますので、あらかじめお試しの上ご使用ください。

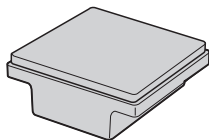
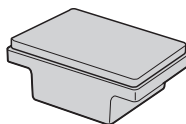
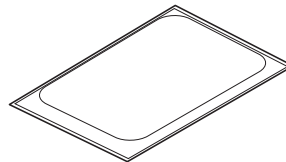
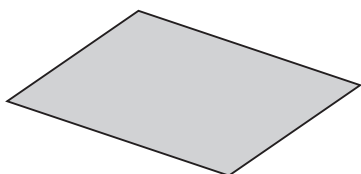
昇華転写プリント条件

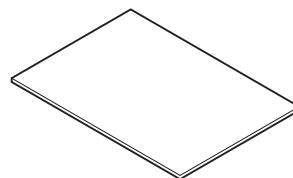
	転写温度	転写時間	圧力	転写方法
ポリTシャツ	180 ℃	1分 30秒	強	※1
ポリトレーナー	180 ℃	1分 30秒	強	※1
ポリポロシャツ	180 ℃	1分 30秒	強	※1
ポリブルゾン	180 ℃	1分 30秒	強	※1
ポリハンカチ	180 ℃	1分 30秒	強	※1
マウスパッド	180 ℃	1分 30秒	強	※1
ポリタオル	180 ℃	1分 30秒	強	※1
扇子	180 ℃	1分 30秒	強	※1
タイル	180 ℃	5分	弱〜中	※2、※3
セラミックキーホルダー	180 ℃	5分	弱〜中	※2、※3
コースター	180 ℃	5分	強	※3
スポーツタグ	180 ℃	5分	強	※3
お皿	180 ℃	5分	弱〜中	※4
パズル	180 ℃	2分	強	※1

・ 圧力は、標準下ゴテを用い、被転写物を各方法でプレスしたときの圧力の目安です。
・ 本機では、「強」: 約５ kN、「弱」: 約２ kN となります。

重要

・陶磁器類のタイル、キーホルダー等は圧力が強すぎると割れることがありますので、その場合は圧力を下げて行ってください。

オプション

●下こて
（165 mm × 165 mm）

●下こて
（165 mm × 100 mm）

●段差マット
（440 mm × 320 mm）

●テフロンシート
（500 mm × 400 mm）

●ヒートテープ
（幅 12mm × 約 65 m）

●シリコンパット
（297mm × 420mm × 3mm）

●四角皿用パット
（120mm × 92mm × 33mm）

●丸皿用パット
（Φ104mm × 31mm）